インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

www.daldo.ip

vol.269・5月21日 _{毎週木曜発行} 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927

- ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
- ●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部





湖南市を中心に活動し、今年で26 年目を迎える「人形劇サークルおに ぎり村」の皆さんが今回の素敵な人。 1164回目の公演地となった日野町 清源寺の花祭り会場でお話を伺った。

手づくりで、ぬくもりがいっぱい

人形はもちろん、背景や小道具、劇中 の歌まで手作りのおにぎり村の人形劇は、 ぬくもりにあふれ、親しみやすいと人気。 取材日も人形劇、ペープサート(※1)、 ブラックライト劇(※2)の3種類の演 目で子どもたちが楽しんでいた。

よく知っている童話から創作劇まで、

子どもたちの笑顔か 26年間で1164回の公演

随所に笑いを取り入れた人形劇に子ど もたちは大満足。一緒に見ている保護 者も童心に帰って楽しんでいた。

主婦ばかりの、熱い集まり

おにぎり村を構成するのは湖南市在住 の主婦9人。結成から同じメンバーで 活動を続けている。

きっかけは人形作りが趣味だった河本 孝子さんと、代表の大槻ますみさんが 主婦仲間に声をかけたことだった。同 世代の子どもを持つ母親同士、話は盛 り上がり、メンバーが集まった。

当時は小学生以下の子どもを持つ母親 ばかりで、育児や家事に忙しく、仕事

をやりくりしながらのス タートだった。

「ときには夜中まで、と ても忙しかったのに、あのころは不思 議とパワーがみなぎっていました」と、 メンバーは振り返る。

「公演先で喜ぶ子どもたちの笑顔を見る と、苦労が吹き飛びました」と大槻さん。 現在、メンバーの一人が遠方へ転居し、 8人で活動することが多いが、帰省し たときには必ず活動に参加してくれる。

長年の活動に、大きな評価

活躍は多方面から広く認められ、02(平 成14) 年に県の文化奨励賞の受賞をは じめ、各企業や団体から表彰や助成金 を受けている。

他の劇団からお手本とされることも多 く、来年まで公演予約が詰まっている。 依頼してくるのは幼稚園、小学校、子 育てサークル、老人会などと幅広い。

演目は100種類以上、 公演回数は1164回目を 迎えた。今月も4回の公 演が入っている。

「手づくり」にこだわり

こだわり続けてきたのは「手づくり」。 廃品などを利用し、主婦の知恵を生か して制作に頑張り続ける。

す」と大槻さん。

のの大切さを伝えたいと思っていま

いつまでも仲間と共に…

「1000回公演できたらい いね、なんて冗談を 言ってたのに、いつ のまにか実現してしま いました」と大槻さん。

今となっては、このお にぎり村は何でも分か

り合える仲間がいるかけがえのない 特別な場所になっている。

「こんな時代だからこそ、子どもたち には思いっきり笑ってほしい。2000回 を目指して頑張ろう!」と語りあう皆 さんの明るい笑顔から、大きなパワー をもらった。これからも楽しい人形劇 で子どもたちに笑顔を届けてほしい。

(取材・福本) 詳しくは ▶www.gaido.jp/2691

※1 ペープサート 人物の絵などを描いた紙に棒をつけ、それ を動かして演じる紙人形劇のこと。

※2 ブラックライト劇 暗闇の中で行われる人形劇。蛍光塗料で 描かれた絵にブラックライトを当て、光 らせて行う。





